

薬 剤 科

薬剤科には21名の薬剤師がおり『信頼される薬剤科』をモットーに、休日夜間を問わず24時間体制で業務を行っています。

平成15年度から全面院外処方となり、外来調剤中心から入院患者さんを中心とする業務へと大きく転換しました。

今後はさらに入院患者さんへの服薬指導などに力を注ぎ、患者さん中心の質の高い医療を提供できるように、薬剤科一丸となって業務にまい進して参ります。

なお、薬剤科に対するご意見ご提案がありましたら、お気軽にお寄せください。

(薬剤長 白井道夫)



歯科・口腔外科

当院の歯科・口腔外科は、川崎市南部地域における口腔(こうくう)外科の基幹的病院で、口や顎(あご)顔面に現れるすべての疾患が対象となります。通常、かかりつけ開業医では治療が難しい病気を扱っています。

親知らずの抜歯、顔・顎・口・歯肉の腫れや痛み、外科歯科矯正、歯列矯正相談、口腔腫瘍(治らない潰瘍、痛み、出血)、顎関節症(あごの雑音や痛み)、顎顔面骨折、口や顎の切り傷などです。

(歯科口腔外科 医長 鬼澤 勝弘)

川崎病院の情報や診療科・専門外来などについては、当院のホームページでご案内しております。ホームページでは、その他にも新しい情報や皆様の健康に役立つ情報をお届けしていますので、ぜひ!アクセスしてください。
<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawasyo/home/home.htm>



季節の one point おいしい秋の食材”お米の旬”

今回の季節のワンポイントは、秋の食材をテーマに、病院食養科の栄養士の太田さんにお話を伺いました。「おいしい季節のレシピ」つきです。

「食物に旬がなくなった」とよく聞きますが、確かに今では1年中様々な食材を買うことができます。

お米ももちろん1年を通して手に入りますが、やはり新米をいただくことができる秋はお米の旬といえるのではないのでしょうか。

お米は私たちの主食です。世界各国で、ご飯を主食に主菜・副菜を組み合わせる日本型食事はバランスがよいと注目されていますが、近年、主食であるご飯を食べる量が減ってきているのです。

しかし、ご飯は意外に低エネルギーで、どんなおかずにもあいます。更に、最近では発芽玄米、胚芽米など精白米に比べて食物繊維、ビタミンE、B1、マグネシウムなどが多いお米も出回っています。一度試してみるのもよいと思います。

「秋が旬」といえばきのこ類もあります。きのこはビタミン、ミネラル、食物繊維に富み、コレステロールを下げ、がん予防に効果があるとも言われ、

そしてなんとと言っても低エネルギーなのでたくさん食べられるという嬉しいおまけつきなのです。今年の秋はご飯ときのこで健康にすごしましょう。

きのこたっぷり炊き込み御飯 (1人分約290kcal)

材料(4人分): 米2合(320g)、生椎茸、舞茸、しめじなど100g、鶏肉60g、出し汁400cc、塩2g、醤油15cc、酒15cc、万能葱少々

作り方
出し汁と調味料を鍋に入れ火にかけて煮立ったら火を止め冷ましておく。
きのこ、鶏肉は小さめに切る。
米をとぎ、水を炊飯器の印どおりに入れて1時間ほど浸漬して水を捨て、捨てた水と同量のきのここと鶏肉を入れて普通に炊く。
器に盛り付け、万能葱をちらす。

きのこ御飯にサンマの塩焼き、大根おろし、胡瓜の酢の物、すまし汁のメニューはいかがでしょう。出し汁をコンソメスープに変え、塩、胡椒、バターを少し入れて炊くと洋風になります。

編集後記

記録的な暑い夏も過ぎ、いつのまにか秋の風を心地よく感じられる季節となりましたね。「くすの木」は、この第4号で発刊して1年を迎えます。

これからも、大地に根を張り力強く育つ楠木(くすの木)のように、大きな優しさを皆様にお届けできるよう頑張ってまいりますので、どうぞご愛読ください。(広報委員会)

くすの木

川崎市立川崎病院 シンボルツリー

平成16年 9月27日発行(第4号) 発行責任者: 添田 真郷 編集: 広報委員会
事務局: 川崎市立川崎病院庶務課 川崎市川崎区新川通12-1 電話044-233-5521
<http://www.city.kawasaki.jp/35/35kawasyo/home/home.htm>

川崎市立川崎病院の基本理念

川崎市立川崎病院は、自治体病院として、市民に最善の医療を提供し、地域の皆様の健康と福祉の向上に貢献することを目指し、その目的のために職員の和とたゆまぬ研究心をもって、次のことを実践してまいります。

- 1 「病気」ではなく「病人」を診る患者さん中心の医療
- 2 地域の基幹病院として、質の高い医療を提供
- 3 健全な経営基盤の確立

「患者さんの権利」

1. 生命の尊重と、人格を尊重した医療を受けることができます。
2. 安全で安心できる良質な医療を受けることができます。
3. 患者さんご自身の病気や治療について、わかりやすく、また、十分な説明と、その情報の提供を受けることができます。
4. 希望や意見を述べていただき、診療方法については自らの意思で選択あるいは拒否することができます。
5. ご希望により、診療のいかなる段階においても、他の医師の意見を聞くことができます。
6. 診療上の個人情報保護は保護され、その秘密は守られません。

病院機能の更なる向上をめざして

～ 安心で信頼のできる病院であるために～

副院長 堀内 行雄

川崎市立川崎病院は、平成16年10月に財団法人日本医療機能評価機構により当院を外から見ていただき、評価を受ける予定です。評価機構は「国民の医療への信頼を揺るぎないものとし、質の一層の向上を図り医療機関の機能を学術的な観点から中立的な立場で評価し、問題点の改善を支援する第三者機関」を趣旨として設立されました。

川崎病院が安心で信頼のできる病院であるためには、病院の一体となった努力はもちろんのこと、常に様々な角度から御指導、御意見をいただくことが是非とも必要です。

病院機能評価の受審は、当院の基本理念を基礎に、病院全体で進めてまいりました取組みに対し評価をいただく大きな機会となります。昨年来、皆様には館内禁煙への御協力をお願いし、1階ロビーでのピアノ自動演奏には、アンケートという方法により一つの方向性を見出せたことや、正面玄関での病院職員の御案内をはじめとした各表示関係の見直しを行うなど様々な取組みを行ってまいりました。

院内11箇所の投書箱に寄せられる御意見等は、病院職員に多くの示唆と励ましを与えていただいておりますが、御指摘や御指導に対しましては真摯に病院全体で改善に向けた展開を図っております。この度の受審は、患者さんに、より御満足をいただくための日常活動の通過点ではありますが、この評価を通して更に患者さん中心の開かれた医療の充実に向けて努力してまいりたいと考えております。

「平成16年度 患者満足度調査」のまとめ

～患者さんのご意見を活かし、より良い病院づくりを進めるために～

川崎病院では、医療サービスの質の向上をめざした取り組みをのひとつとして、院内の業務改善委員会を中心に「患者満足度調査」を実施し、患者さんに調査へのご協力をいただいています。これは、調査からわかる患者さんのご意見を活かし、具体的な改善策を進めるためのものです。今年度は、平成15年に実施した患者満足度調査とその後の改善策の効果を図ることもふまえた調査項目を設定して、7月に調査を実施しました。今回、調査結果がまとまりましたので、紙面でご報告します。



当院では、医療サービスの質の向上をめざして、平成15年2月に外来・入院患者さんを対象に、「患者満足度調査」を行っています。

その調査の結果、患者さんに対する職員の接し方や外来待ち時間について改善する必要があることがわかりました。

それらの結果を踏まえて、以下の対策を講じてまいりました。

1. 全職員に対して接遇教育
接遇教育研修・啓蒙活動・職場でのミーティング
2. 外来待ち時間については、平成15年10月に再来の患者さんに「外来待ち時間調査」を実施
外来診察の進捗状況をきめ細やかにアナウンス
10時30分と11時30分に外来診察待ち時間を把握し、患者さんへのお知らせ
外来受付番号の説明の表示



今回、以上の対策が実際に患者さんの満足度を改善させることができたかどうかを含めて調査をするため、平成16年7月21日に外来・入院患者さんを対象とした満足度調査を再び実施しました。

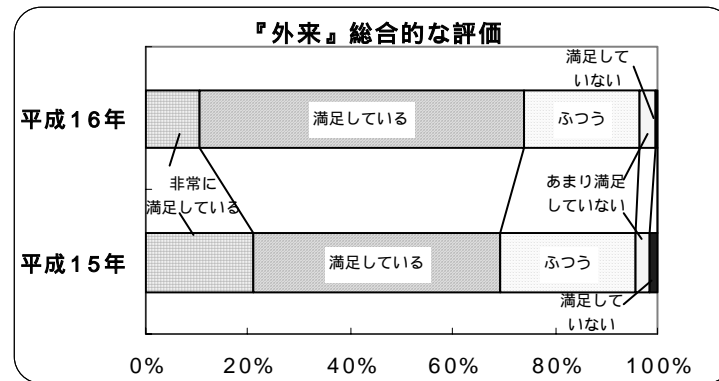
今回の調査は、外来は回収率86% (352名)、病棟は回収率84% (327名)でした。

多くの患者さんのご協力をいただき、誠にありがとうございました。



調査でわかったこと

1. 外来について



上のグラフは、今回(平成16年度)と平成15年度の外来部門の集計結果の比較です。

調査票からは、概ね、次のような傾向が読み取れました。

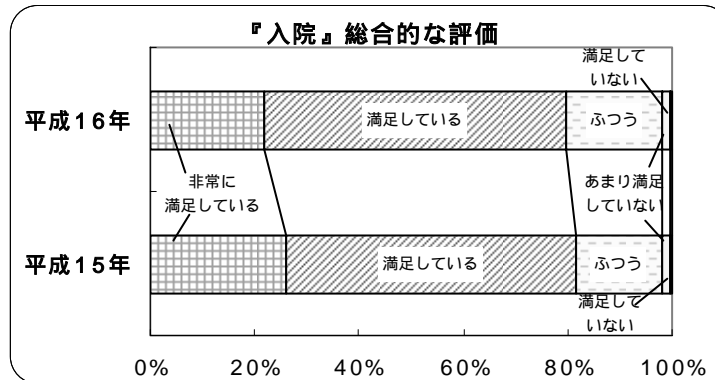
- (1) 当院の総合的な満足度は、“非常に満足している”と“満足している”の合計は今回74%と、前回の69%と比べて若干改善していました。
- (2) 医師については“病状や治療経過についての説明”、“わかりやすい説明”、“家族への説明や対応”、“診察時間”などの項目について前回より満足度が向上していました。一方で自由意見として“外来待ち時間が長い”、“予約の意味がない”などの意見が多くみられました。
- (3) 看護師、検査技師、放射線技師、リハビリ部門、初診受付、会計窓口、警備員についても、前回と比較して満足度は向上していました。



2. 入院について

また、入院部門については、次のような傾向と集計結果(グラフ)とが導きだされました。

- (1) 当院の総合的な満足度は、“非常に満足している”と“満足している”の合計は、今回80%で、前回の82%と比べて差はありませんでした。



- (2) 全般的には各部門ともほぼ前回と同様の満足度でした。満足度が著明に改善していたのは、医師、リハビリ部門、栄養指導の“わかりやすい説明”、リハビリ部門の“身だしなみ、言葉遣い”などでした。

- (3) 施設・設備面では“院内の雰囲気”、“病室の空調”、“トイレや洗面所の場所・清潔さ・使いやすさの面で前回より満足度の低下がみられました。自由意見として設備面では駐車料金、ワンコインバス、売店に関するもの、規則面では面会時間、病室では個室料金に関するものが多くみられました。

これらの皆様方の貴重なご意見を参考に、当院では、今後、具体的な改善策を実施することで、さらなる医療サービスの向上に努めてまいります。

環境にやさしく 川崎病院のゴミリサイクル

川崎病院では、病院食や院内レストランから、調理クズや食べ残しがゴミとして排出されます。院内の廃棄物センターでは、ゴミ減量化と環境リサイクルへの取り組みとして、この一部を「発酵式生ゴミ処理機」を使用して堆肥にしています。

一日に約350kgの調理クズや食べ残しが生ゴミとして排出されますが、その3分の1(120kg)程度を米糠や発酵菌で調整し、61℃で高速発酵処理しています。3～4日に一度、計500kgもの生ゴミが90kgほどの質の良い堆肥に姿を変えて、院内の緑化に大きな役割を果たしています。

また、この堆肥を川崎市役所の各部署や市民団体を通じて市内の公園、学校、保育園等で試験的に利用いただいています。利用者の方からは「綺麗な花が咲いた」「柿の実がたくさんなった」との嬉しいお便りもいただきました。

今後もこの堆肥を、病院外のさまざまな施設等で利用いただき、地域貢献の一役を担いたいと考えています。

ご利用になりたい場合、個人での希望にお応えすることはできませんが、町内会や施設、団体でお申し込みいただければ、無償でお分けします。

詳しくは、川崎病院庶務課管理係
(044-233-5521 内3545)まで
お問い合わせください。

